

文教福祉委員会

平成23年11月30日（水）

午前11時00分～午前11時17分

議会第2会議室

【出席委員】平原嘉徳委員長、野中宣明副委員長、実松尊信委員、千綿正明委員、川原田裕明委員、山本義昭委員、福島龍一委員、田中喜久子委員、山下明子委員、黒田利人委員

【欠席委員】なし

【委員外議員】なし

【執行部出席者】

- ・教育委員会 東島教育長、中島副教育長兼こども教育部長、荒金社会教育部長
- ・保健福祉部 益田保健福祉部長  
ほか、関係職員

【案件】

- ・審査、採決・まとめ

○平原委員長

お疲れさまでございます。

それでは、これより文教福祉委員会を開催いたします。

まず、発言をされる方は必ず挙手をしていただいて、指名後にマイクにある青いボタンを押してから御発言をお願いしたいと思います。なお、マイクは後押し優先です。発言終了後に消すために押す必要はございません。

また、委員会の会議録はホームページに公開することになっておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

それではまず、委員会の審査日程についてお諮りをいたします。

お手元に配付をしております審査日程（案）で進めたいと思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

はい。御異議がないということでございますので、この審議日程どおり、当委員会に付託されました議案について審査していきたいと思ひます。

今回付託をされております各予算議案につきましては、人事院勧告に伴う条例の一部改正及び人事異動に伴う補正予算でございますので、第98号議案から第100号議案及び第107号議案について一括して執行部の説明を求めたいと思ひます。

それでは、執行部のほうから説明をお願いしたいと思います。

はい、どうぞ。

◎第98号議案 平成23年度佐賀市一般会計補正予算（第4号） 説明

◎第99号議案 平成23年度佐賀市国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 説明

◎第100号議案 平成23年度佐賀市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第2号） 説明

◎第107号議案 平成23年度佐賀市立富士大和温泉病院事業会計補正予算（第1号） 説明

○平原委員長

それでは今、第98号から第100号、第107号までそれぞれ執行部のほうから説明がございました。

それでは、これから委員の皆さんから御質疑をお受けしたいと思います、質疑のある方は挙手の上、お願いしたいと思います。

はい、どうぞ。山下委員。

○山下明子委員

先ほど議案質疑でもありましたけれども、今回の人勧の反映ということで、結果として3年連続の引き下げということになると思いますけれども、モチベーションの問題がちょっと議案質疑の中で出てまいりました。

特に、この文教福祉にかかわる委員会の所管する分野という、本当に福祉、教育——市民の最前線に立っていかなくてはいけない部分だとか、それから保育など非常に事務事業が多くなっている中で人が足りなくて遅くまでかかるとかですね、教育委員会も結構遅くまで電気がついている状態だったりするっていうのを拝見してますと、本当にこういう中で3年連続で多分27万円近く引き下げになってくるという状態になるわけなんです、職員の方たちの状態が実際どういうことなのかということ一度ちょっとお聞きしておきたいと思いますが——モチベーションの問題がね、先ほど、議案質疑で言われていたので。

○中島副教育長兼こども教育部長

ちょっと部がまたがっておりますが、私がちょっと代表して今の御質問にお答えしたいと思います。

確かに、今回の補正——給料関係でございますのでそこら辺もあるかと思いますが、先ほどの答弁でもございましたように佐賀市の場合、人事委員会はございませんで、人事院勧告に準拠したところでやっております。

この分につきましては、これまでもプラスでの勧告があった場合はプラスの勧告、今回の場合のようにマイナスの勧告があった場合はマイナス勧告ということで、それに準拠したことでしております。

またこの分につきましては、事前にやはり職員のほうとも話をして、議案として出ささせていただきますので、確かに我々としても給料が下がるというのは確かに痛いところはございますが、先ほど答弁があったように、あと大震災等々のこともございます。それから経済的な環境もございますので、この分については職員のほうも納得しているという先ほどの答弁のとおりじゃないかというふうに思っているところでございます。

○平原委員長

よろしいですか。

ほかございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

ないようでございますので、議案にかかる審査を終わりたいと思います。

それでは執行部の皆さん方は退席をお願いしたいと思います。

◎執行部退室

○平原委員長

それでは委員の皆様方、このまま採決に移りたいと思いますけれどもよろしゅうございますか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

それでは採決に入りたいと思いますけれども、その前に今回、当委員会に付託されました議案について反対意見はございますでしょうか。

はい、山下委員。

○山下明子委員

先ほどの答弁では職員も納得しているということではあったんですが、やはり今回は1人当たり1万4,900円の反映と。それぐらいだったらという言い方もあるかもしれないんですが、逆にそれぐらいだったら頑張っていていいんじゃないかという思いも持つわけです。

つまり、市役所の職員の持つ力ってということを考えたときに、あの大地震の中で結局、その職員の人たちがいるかいないかで非常にいろんな対応の分かれ目が出てきたってことがあらわれたと思いますけれども、今公務員に対しての見方ではない、下げていくんだってことがずうっとこうなっていくと、例えば民間に合わせて下げる、民間は公務員が下がったらそれに合わせて下げるということで、どんどん悪循環になっていく、そのことが一方でデフレを招いていくということにもなるんじゃないかと思います。それで私たち、これやっぱり下げて当たり前というふうにはすべきではないというふうにご考えておりますので、この一連のですね、人勧に関する議案に対しては反対をいたします。

○平原委員長

山下委員に御確認をさしていただきたいと思います。

第98号から第99号、第100号、第107号、4つの議案についての反対ということでよろしゅうございますね。

(「はい」と呼ぶ者あり)

ほかにごございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

はい。それではないようでございますので、第98号から第100号及び第107号議案まで1つずつ、議案に挙手採決をさしていただきたいと思います。

この件について御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

はい。まず、第98号議案について採決をいたします。

お諮りをいたします。第98号議案について賛成の方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

はい。賛成多数と認めます。

よって第98号については原案を可決すべきものと決定をいたしました。

次に、第99号議案について採決をいたします。

お諮りをいたします。第99号議案について賛成の方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

はい。賛成多数と認めます。

よって第99号議案については原案を可決すべきものと決定いたしました。

そして、次に第100号議案について採決をいたします。

お諮りいたします。第100号議案について賛成の方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

はい。賛成多数と認めます。

よって第100号議案については原案を可決すべきものと決定いたしました。

最後に、第107号議案について採決をいたします。

お諮りいたします。第107号議案について賛成の方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

はい。賛成多数と認めます。

よって第107号議案については原案を可決すべきものと決定いたしました。

それで、委員長報告の件でございますけれども、いかがいたしましょうか。

(「要らないです。なくていいです」と呼ぶ者あり)

それでは委員長報告はなしということでお願いしたいと思っております。よろしゅうございますか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

それでは最後に、委員会の会議録が公開されることに伴いまして、委員会における字句、数字、その他の整理についてお諮りいたします。

本委員会の会議録につきましては、字句、数字、その他の整理については委員長に委任されたいと思っておりますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

御異議がないということでございますので、委員長に委任することに決定いたしました。

それではこれで文教福祉委員会を終了いたします。

どうもお疲れさまでした。